

4 減価償却費の算定基礎

いちご 普通 40a規模の10a当たり

区分	種類	型式	数量	新調価格 (円) ㉘	取得時 負担割合 (%) ㉚	実用耐用 年数(年) ㉛	年償却額 (円) ㉜=㉘*㉚/㉛	利用 面積 ㉝	対象作目負 担額等平均 投下額(円) ㉞=㉘/2/㉝*10	対象作目負 担額等年償 却額(円) ㉟=㉜/㉝*10
建 物 施 設	ビニールハウス	KPHN(4連×45m×3)	4,000	24,140,000	70%	12	1,419,432	40a	2,112,250	354,858
	中2重施設	KPHN(4連×45m×3)	4,000	3,128,000	70%	12	183,926	40a	273,700	45,982
	屋根掛け育苗ハウス	5.4m*56m*3棟	1,300	4,683,900	70%	12	275,413	40a	409,841	68,853
	収納作業舎	木造	83	2,407,000	100%	22	110,722	40a	300,875	27,681
	小計			34,358,900			1,989,494		3,096,666	497,374
機 械 器 具	トラクター15ps(ロータリー付)	15PS(作業幅130cm)	1	1,494,000	100%	10	149,400	40a	186,750	37,350
	軽トラック	660cc	1	805,000	100%	6	134,435	40a	100,625	33,609
	畦立て機	ハタハタ	1	507,050	100%	10	50,705	40a	63,381	12,676
	動力噴霧機	3PS・タンク付き(500L)	1	259,200	100%	10	25,920	40a	32,400	6,480
	暖房機	400型(タンク付、観音外コネクタ込)	4	4,640,000	70%	10	324,800	40a	406,000	81,200
	電照一式	電照機作機、配線、引込柱等(電線除く)	4	1,300,000	70%	10	91,000	40a	113,750	22,750
	かん水施設一式(本ぼ)	給水ほ場立上りまで	4	2,560,000	70%	10	179,200	40a	224,000	44,800
	予冷库	3坪用(-5~+15℃)	1	826,800	100%	10	82,680	40a	103,350	20,670
	高設ベンチ育苗一式	ベンチ、灌水施設(工事込)	4	5,640,000	100%	21	270,720	40a	705,000	67,680
	自動開閉装置	制御盤1系統+1扉、谷センサー(固定式)2台	4,000	4,124,500	70%	10	288,715	40a	360,894	72,179
	パソコン一式		1	150,000	100%	6	25,050	40a	18,750	6,263
小計			22,306,550			1,622,625		2,314,900	405,657	
動 物 植 物										
	小計			0			0		0	0
合計				56,665,450			3,612,119		5,411,566	903,031

注1) 取得時負担割合:「全額自己負担 100%」「補助事業活用 70%(硬プラ等50%)」「共同利用 33%」から選択

注2) 耐用年数は、実用耐用年数(法定耐用年数の1.5倍)を使用した。

注3) 利用面積は、他作目も含めた経営全体のうち、当該施設や機械等を利用する面積とした。

区分	いちご
----	-----

作目作型名	株冷
-------	----

1 前提条件等

(1) 営農類型(主要作目の規模)

作目	規模	作目	規模
いちご	30 a		
いちご育苗	9 a		
	a		
	a		
合計		39	a

(2) 農業従事者数

家族労働	2 人	常時雇用	人
------	-----	------	---

(3) 原単位表の規模

30 a 規模の
10 a 当たり
(借地)

(4) 生産量と単価

生産量	5,000	kg/10a
単価	1,040	円/kg

(5) 栽培技術

品種	さつまとめ
親株植付と管理	10月下旬～11月上旬にプランターへ植え付ける。親株本数は、株冷処理用としては採苗時期が早く仔苗の数が少ないので、10aあたり700株以上必要となる。
低温暗黒処理	花芽分化を促進するため、低温暗黒処理(9月20日定植の場合、13℃で13日間予冷庫入庫)を行う。 入庫時の苗は、クラウン茎10mm以上、葉数は3～4枚、葉柄中の硝酸態窒素含量が100ppm以下であること。
定植	植え付けは9月20日～9月25日頃とし、花芽検鏡により花芽分化を必ず確認し定植する。
施肥	基肥(10a当たり)として、苦土石灰100kg、いちご配合200kgを施用する。 追肥(10a当たり)として、マルチ前にNK化成2号を15kg、その後は液肥をN成分で0.5～0.8kgずつ(10日間隔)施用する。
栽植密度	畦幅115～120cm、株間28cmの2条千鳥植え、条間は25～28cm程度とする。10a当たり植付け株数は、6,000～6,200株。
マルチ	黒ポリフィルムを利用し、頂果房の出蕾前に行う。
ビニール被覆	ビニール被覆時期は10月下旬を目安とし、平均気温が17℃以下になってから行う。
ジベレリン処理	出蕾期に5ppm程度の低濃度で1回処理する。
ミツバチの搬入	花房開花の1週間前(出蕾期)までに行う。
温度管理	午前中22～25℃、午後16～18℃、夜温8℃程度を目安とする。
電照管理	電照開始時期は12月上中旬、電照終了時期は2月中下旬とする。
摘果	草勢維持・品質向上・収穫調整の省力化のために、裾花の摘果を行う。不受精果や奇形果は早期に除去する。

2 原単位表

円/10a

費 目		金額(税抜)
粗 収 益	金 額 ①	5,200,000
	雑 収 入 ②	
	副産物収入 ③	
	粗収益合計 ④=①+②+③	5,200,000
費 用	租税公課	15,732
	種苗費	63,000
	素畜費	0
	肥料費	104,385
	飼料費	0
	農具費	19,233
	農薬衛生費	127,300
	諸材料費	375,279
	修繕費	142,061
	動力光熱費	228,906
	農作業衣料費	5,851
	農業共済掛金	16,517
	減価償却費	807,653
	賃借料	12,692
	土地改良費	0
雑費	41,533	
労働費	家族 ⑥	1,043,638
	雇用 ⑦	545,930
合 計	⑧=⑤+⑥+⑦	3,549,710
	経費から差引く育成費用 ⑨	0
	生 産 費 ⑩=⑧-③-⑨	3,549,710
資本利子	支払 ⑪	35,249
	自己 ⑫	35,249
地 代	支払 ⑬	0
	自己 ⑭	6,178
	支払利子・地代算入生産費 ⑮=⑪+⑫+⑬+⑭	3,584,959
	資本利子・地代全額算入生産費 ⑯=⑮+⑬+⑭	3,626,386
流 通	販売手数料 ⑰	520,000
	荷造・運賃 ⑱	584,389
費 小 計	⑲=⑰+⑱	1,104,389
総 原 価	⑳=⑯+⑲	4,730,775
農業経営費	㉑=⑳+①+⑬+⑲-⑨	3,645,710
農 業 所 得	㉒=④-㉑	1,554,290
所 得 率	㉓=㉒/④	30%
農 企 業 利 潤	㉔=㉒-⑥-⑭-⑮	469,225
家族労働報酬	㉕=㉒-⑭-⑮	1,512,863
家族労働1日当たり農業所得	㉖=㉕/㉗*8	9,174
固定資本1,000円当たり所得	㉗=㉕/㉘*1000	323

3 月別労働時間及び作付体系

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
月別労働時間	274.4	317.9	306.2	230.8	163.0	103.0	73.0	58.3	134.0	85.5	122.9	195.3	2,064.4
作付体系	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	△=====△			☆☆	○ ○●●●●●●●●	○ ○●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	○ 親株定植 △ 採苗 ☆☆予冷庫入庫(株冷) ◎ 定植 ■ 収穫

※合計労働時間のうち 家族労働時間 ㉗ 1,355.4 雇用労働時間 709.0

4 減価償却費の算定基礎

いちご 株冷 30a規模の10a当たり

区分	種類	型式	数量	新調価格	取得時	実用耐用	年償却額	利用	対象作目負	対象作目負
				(円)	負担割	年数(年)	(円)	面積	担額等平均	担額等年償
				㉑	㉒	㉓	㉔=㉑*㉒/㉓	㉕	㉖=㉑/2/㉕*10	㉗=㉔/㉕*10
建 物 施 設	ビニールハウス	KP(4連×45m×3)	3,000	11,391,000	70%	12	669,791	30a	1,328,950	223,264
	中2重施設	KP(4連×45m×3)	3,000	2,346,000	70%	12	137,945	30a	273,700	45,982
	屋根掛け育苗ハウス	5.4m*56m*3棟	900	3,242,700	100%	12	272,387	30a	540,450	90,796
	収納作業舎	木造スレート(20坪)	66	1,914,000	100%	22	88,044	30a	319,000	29,348
	小計			18,893,700			1,168,166		2,462,100	389,390
機 械 器 具	トラクター15ps(ロータリー付)	15PS(作業幅130cm)	1	1,494,000	100%	10	149,400	30a	249,000	49,800
	軽トラック	660cc	1	805,000	100%	6	134,435	30a	134,167	44,812
	畦立て機	ハタハタ	1	507,050	100%	10	50,705	30a	84,508	16,902
	動力噴霧機	3PS・タンク付き(200L)	1	259,200	100%	10	25,920	30a	43,200	8,640
	暖房機	400型(タンク付、親タフトコネクタ込)	3	3,480,000	70%	10	243,600	30a	406,000	81,200
	電照一式	電照機作機、配線、引込柱等(電線除く)	3	975,000	70%	10	68,250	30a	113,750	22,750
	かん水施設一式(本ぼ)	給水ほ場立上りまで	3	1,920,000	70%	10	134,400	30a	224,000	44,800
	予冷库	1.5坪用(-5~+15℃)	1	525,800	100%	10	52,580	30a	87,633	17,527
	高設ベンチ育苗一式	ベンチ、かん水施設(工事込)	3	4,230,000	100%	21	203,040	30a	705,000	67,680
	自動開閉装置	制御盤1系統+1扉、谷センサー(固定式)2台	3,000	2,391,500	70%	10	167,405	30a	279,008	55,802
	パソコン一式		1	150,000	100%	6	25,050	30a	25,000	8,350
	小計			16,737,550			1,254,785		2,351,266	418,263
動 物 植 物										
	小計			0			0		0	0
合計				35,631,250			2,422,951		4,813,366	807,653

注1) 取得時負担割合:「全額自己負担 100%」「補助事業活用 70%(硬プラ等50%)」「共同利用 33%」から選択

注2) 耐用年数は、実用耐用年数(法定耐用年数の1.5倍)を使用した。

注3) 利用面積は、他作目も含めた経営全体のうち、当該施設や機械等を利用する面積とした。

区分	いちご
----	-----

作目作型名	高設
-------	----

1 前提条件等 (1) 営農類型(主要作目の規模) <table border="1"> <thead> <tr> <th>作目</th> <th>規模</th> <th>作目</th> <th>規模</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いちご</td> <td>30 a</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>いちご育苗</td> <td>9 a</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>a</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>a</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>39</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>		作目	規模	作目	規模	いちご	30 a			いちご育苗	9 a				a				a			合計		39	a	2 原単位表 円/10a																																																																																									
作目	規模	作目	規模																																																																																																																
いちご	30 a																																																																																																																		
いちご育苗	9 a																																																																																																																		
	a																																																																																																																		
	a																																																																																																																		
合計		39	a																																																																																																																
(2) 農業従事者数 <table border="1"> <tr> <td>家族労働</td> <td>2 人</td> <td>常時雇用</td> <td>人</td> </tr> </table>		家族労働	2 人	常時雇用	人	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">費 目</th> <th>金額(税抜)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">粗 収 益</td> <td>金 額 ①</td> <td>5,566,000</td> </tr> <tr> <td>雑 収 入 ②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>副産物収入 ③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>粗収益合計 ④=①+②+③</td> <td>5,566,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">費 用</td> <td>租税公課</td> <td>15,199</td> </tr> <tr> <td>種苗費</td> <td>9,000</td> </tr> <tr> <td>素畜費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>肥料費</td> <td>114,291</td> </tr> <tr> <td>飼料費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>農具費</td> <td>19,233</td> </tr> <tr> <td>農薬衛生費</td> <td>127,300</td> </tr> <tr> <td>諸材料費</td> <td>363,371</td> </tr> <tr> <td>修繕費</td> <td>195,921</td> </tr> <tr> <td>動力光熱費</td> <td>298,473</td> </tr> <tr> <td>農作業衣料費</td> <td>5,851</td> </tr> <tr> <td>農業共済掛金</td> <td>8,264</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td>1,076,951</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td>14,698</td> </tr> <tr> <td>土地改良費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>雑費</td> <td>60,200</td> </tr> <tr> <td>労働費</td> <td>家族 ⑥</td> <td>1,051,084</td> </tr> <tr> <td></td> <td>雇用 ⑦</td> <td>592,130</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>⑧=⑤+⑥+⑦</td> <td>3,951,965</td> </tr> <tr> <td colspan="2">経費から差引く育成費用 ⑨</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">生 産 費 ⑩=⑧-③-⑨</td> <td>3,951,965</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">資 本 利 子</td> <td>支払 ⑪</td> <td>43,799</td> </tr> <tr> <td>自己 ⑫</td> <td>43,799</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地 代</td> <td>支払 ⑬</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>自己 ⑭</td> <td>6,178</td> </tr> <tr> <td colspan="2">支払利子・地代算入生産費 ⑮=⑩+⑪+⑫</td> <td>3,995,764</td> </tr> <tr> <td colspan="2">資本利子・地代全額算入生産費 ⑯=⑮+⑬+⑭</td> <td>4,045,741</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">流 通 費</td> <td>販売手数料 ⑰</td> <td>556,600</td> </tr> <tr> <td>荷造・運賃 ⑱</td> <td>642,827</td> </tr> <tr> <td colspan="2">費 小 計 ⑲=⑰+⑱</td> <td>1,199,427</td> </tr> <tr> <td colspan="2">総 原 価 ⑳=⑯+⑲</td> <td>5,245,168</td> </tr> <tr> <td colspan="2">農業経営費 ㉑=⑳+①+③+⑤-⑨</td> <td>4,144,108</td> </tr> <tr> <td colspan="2">農 業 所 得 ㉒=④-㉑</td> <td>1,421,892</td> </tr> <tr> <td colspan="2">所 得 率 ㉓=㉒/④</td> <td>26%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">農 企 業 利 潤 ㉔=㉒-⑥-⑭-⑱</td> <td>320,832</td> </tr> <tr> <td colspan="2">家族労働報酬 ㉕=㉒-⑭-⑱</td> <td>1,371,916</td> </tr> <tr> <td colspan="2">家族労働1日当たり農業所得 ㉖=㉕/㉗*8</td> <td>8,333</td> </tr> <tr> <td colspan="2">固定資本1,000円当たり所得 ㉗=㉒/㉘*1000</td> <td>231</td> </tr> </tbody> </table>		費 目		金額(税抜)	粗 収 益	金 額 ①	5,566,000	雑 収 入 ②		副産物収入 ③		粗収益合計 ④=①+②+③	5,566,000	費 用	租税公課	15,199	種苗費	9,000	素畜費	0	肥料費	114,291	飼料費	0	農具費	19,233	農薬衛生費	127,300	諸材料費	363,371	修繕費	195,921	動力光熱費	298,473	農作業衣料費	5,851	農業共済掛金	8,264	減価償却費	1,076,951	賃借料	14,698	土地改良費	0	雑費	60,200	労働費	家族 ⑥	1,051,084		雇用 ⑦	592,130	合 計	⑧=⑤+⑥+⑦	3,951,965	経費から差引く育成費用 ⑨		0	生 産 費 ⑩=⑧-③-⑨		3,951,965	資 本 利 子	支払 ⑪	43,799	自己 ⑫	43,799	地 代	支払 ⑬	0	自己 ⑭	6,178	支払利子・地代算入生産費 ⑮=⑩+⑪+⑫		3,995,764	資本利子・地代全額算入生産費 ⑯=⑮+⑬+⑭		4,045,741	流 通 費	販売手数料 ⑰	556,600	荷造・運賃 ⑱	642,827	費 小 計 ⑲=⑰+⑱		1,199,427	総 原 価 ⑳=⑯+⑲		5,245,168	農業経営費 ㉑=⑳+①+③+⑤-⑨		4,144,108	農 業 所 得 ㉒=④-㉑		1,421,892	所 得 率 ㉓=㉒/④		26%	農 企 業 利 潤 ㉔=㉒-⑥-⑭-⑱		320,832	家族労働報酬 ㉕=㉒-⑭-⑱		1,371,916	家族労働1日当たり農業所得 ㉖=㉕/㉗*8		8,333	固定資本1,000円当たり所得 ㉗=㉒/㉘*1000		231
家族労働	2 人	常時雇用	人																																																																																																																
費 目		金額(税抜)																																																																																																																	
粗 収 益	金 額 ①	5,566,000																																																																																																																	
	雑 収 入 ②																																																																																																																		
	副産物収入 ③																																																																																																																		
	粗収益合計 ④=①+②+③	5,566,000																																																																																																																	
費 用	租税公課	15,199																																																																																																																	
	種苗費	9,000																																																																																																																	
	素畜費	0																																																																																																																	
	肥料費	114,291																																																																																																																	
	飼料費	0																																																																																																																	
	農具費	19,233																																																																																																																	
	農薬衛生費	127,300																																																																																																																	
	諸材料費	363,371																																																																																																																	
	修繕費	195,921																																																																																																																	
	動力光熱費	298,473																																																																																																																	
	農作業衣料費	5,851																																																																																																																	
	農業共済掛金	8,264																																																																																																																	
	減価償却費	1,076,951																																																																																																																	
	賃借料	14,698																																																																																																																	
土地改良費	0																																																																																																																		
雑費	60,200																																																																																																																		
労働費	家族 ⑥	1,051,084																																																																																																																	
	雇用 ⑦	592,130																																																																																																																	
合 計	⑧=⑤+⑥+⑦	3,951,965																																																																																																																	
経費から差引く育成費用 ⑨		0																																																																																																																	
生 産 費 ⑩=⑧-③-⑨		3,951,965																																																																																																																	
資 本 利 子	支払 ⑪	43,799																																																																																																																	
	自己 ⑫	43,799																																																																																																																	
地 代	支払 ⑬	0																																																																																																																	
	自己 ⑭	6,178																																																																																																																	
支払利子・地代算入生産費 ⑮=⑩+⑪+⑫		3,995,764																																																																																																																	
資本利子・地代全額算入生産費 ⑯=⑮+⑬+⑭		4,045,741																																																																																																																	
流 通 費	販売手数料 ⑰	556,600																																																																																																																	
	荷造・運賃 ⑱	642,827																																																																																																																	
費 小 計 ⑲=⑰+⑱		1,199,427																																																																																																																	
総 原 価 ⑳=⑯+⑲		5,245,168																																																																																																																	
農業経営費 ㉑=⑳+①+③+⑤-⑨		4,144,108																																																																																																																	
農 業 所 得 ㉒=④-㉑		1,421,892																																																																																																																	
所 得 率 ㉓=㉒/④		26%																																																																																																																	
農 企 業 利 潤 ㉔=㉒-⑥-⑭-⑱		320,832																																																																																																																	
家族労働報酬 ㉕=㉒-⑭-⑱		1,371,916																																																																																																																	
家族労働1日当たり農業所得 ㉖=㉕/㉗*8		8,333																																																																																																																	
固定資本1,000円当たり所得 ㉗=㉒/㉘*1000		231																																																																																																																	
(3) 原単位表の規模 <table border="1"> <tr> <td>30 a 規模の</td> </tr> <tr> <td>10 a 当たり</td> </tr> <tr> <td>(借地)</td> </tr> </table>		30 a 規模の	10 a 当たり	(借地)	(4) 生産量と単価 <table border="1"> <tr> <td>生産量</td> <td>5,500</td> <td>kg/10a</td> </tr> <tr> <td>単価</td> <td>1,012</td> <td>円/kg</td> </tr> </table>		生産量	5,500	kg/10a	単価	1,012	円/kg																																																																																																							
30 a 規模の																																																																																																																			
10 a 当たり																																																																																																																			
(借地)																																																																																																																			
生産量	5,500	kg/10a																																																																																																																	
単価	1,012	円/kg																																																																																																																	
(5) 栽培技術 <table border="1"> <tr> <td>栽培システム</td> <td>I型(栽培槽は発泡スチロール、培地加温、培地量5.4~6%[※]/株、ベッド巾46cm、1000㎡当たり16列設置)</td> </tr> <tr> <td>品種</td> <td>さがほのか</td> </tr> <tr> <td>一次採苗</td> <td>健全親株を導入し、10月下旬~11月上旬にプランターへ植え付け、1株当たり9~10本の仔苗を採苗し、親株確保(確保目標数10aあたり900株以上)を図る。</td> </tr> <tr> <td>二次親株管理</td> <td>一次採苗した苗を2月下旬~3月下旬にプランターへ植え付ける。また、一次採苗した親株は更に、二次親株として続けて採苗する。</td> </tr> <tr> <td>採苗(定植用苗)</td> <td>育苗鉢は10.5cmポットを利用し、6月上旬~7月上旬(2段階育苗の場合は、6月中旬~7月下旬)に鉢受けする。鉢受け後、20~25日程度で切り離す。親株1株当たり9~10株程度を採苗し、7,500株/10a(株間25cmの場合)確保する。</td> </tr> <tr> <td>定植</td> <td>植え付けは9月15日~9月25日頃とし、必ず検鏡により花芽分化を確認し定植する。</td> </tr> <tr> <td>施肥</td> <td>基肥(10a当たり)として、エコロング100 70kg、バイオノ有機100kg、キレート鉄3.5kgを施用する。 追肥(10a当たり)として、マルチ前にエコロング20kg、バイオノ有機20kgを施用する。その後は、EC0.3~0.8を目安に液肥等で追肥する。</td> </tr> <tr> <td>栽植密度</td> <td>株間20cm、2条千鳥植え、10a当たり97,000株以上</td> </tr> <tr> <td>マルチ</td> <td>黒ポリフィルムを利用し、頂花房の出蕾前に行う。花房が伸長する前にベッドサイドに反射フィルムを張る。</td> </tr> <tr> <td>ビニール被覆</td> <td>ビニール被覆時期は10月下旬を目安とし、平均気温が17℃以下になってから行う。</td> </tr> <tr> <td>ジベレリン処理</td> <td>出蕾期に10ppm程度の低濃度で1回処理する。</td> </tr> <tr> <td>電照管理</td> <td>電照開始は11月中旬、電照終了は3月上旬</td> </tr> <tr> <td>培地加温</td> <td>最低培地温15~16℃を目標に地温の調整を行う。</td> </tr> <tr> <td>病虫害防除</td> <td>育苗期に徹底防除し、本ばに持ち込まない。</td> </tr> </table>		栽培システム	I型(栽培槽は発泡スチロール、培地加温、培地量5.4~6% [※] /株、ベッド巾46cm、1000㎡当たり16列設置)	品種	さがほのか	一次採苗	健全親株を導入し、10月下旬~11月上旬にプランターへ植え付け、1株当たり9~10本の仔苗を採苗し、親株確保(確保目標数10aあたり900株以上)を図る。	二次親株管理	一次採苗した苗を2月下旬~3月下旬にプランターへ植え付ける。また、一次採苗した親株は更に、二次親株として続けて採苗する。	採苗(定植用苗)	育苗鉢は10.5cmポットを利用し、6月上旬~7月上旬(2段階育苗の場合は、6月中旬~7月下旬)に鉢受けする。鉢受け後、20~25日程度で切り離す。親株1株当たり9~10株程度を採苗し、7,500株/10a(株間25cmの場合)確保する。	定植	植え付けは9月15日~9月25日頃とし、必ず検鏡により花芽分化を確認し定植する。	施肥	基肥(10a当たり)として、エコロング100 70kg、バイオノ有機100kg、キレート鉄3.5kgを施用する。 追肥(10a当たり)として、マルチ前にエコロング20kg、バイオノ有機20kgを施用する。その後は、EC0.3~0.8を目安に液肥等で追肥する。	栽植密度	株間20cm、2条千鳥植え、10a当たり97,000株以上	マルチ	黒ポリフィルムを利用し、頂花房の出蕾前に行う。花房が伸長する前にベッドサイドに反射フィルムを張る。	ビニール被覆	ビニール被覆時期は10月下旬を目安とし、平均気温が17℃以下になってから行う。	ジベレリン処理	出蕾期に10ppm程度の低濃度で1回処理する。	電照管理	電照開始は11月中旬、電照終了は3月上旬	培地加温	最低培地温15~16℃を目標に地温の調整を行う。	病虫害防除	育苗期に徹底防除し、本ばに持ち込まない。																																																																																						
栽培システム	I型(栽培槽は発泡スチロール、培地加温、培地量5.4~6% [※] /株、ベッド巾46cm、1000㎡当たり16列設置)																																																																																																																		
品種	さがほのか																																																																																																																		
一次採苗	健全親株を導入し、10月下旬~11月上旬にプランターへ植え付け、1株当たり9~10本の仔苗を採苗し、親株確保(確保目標数10aあたり900株以上)を図る。																																																																																																																		
二次親株管理	一次採苗した苗を2月下旬~3月下旬にプランターへ植え付ける。また、一次採苗した親株は更に、二次親株として続けて採苗する。																																																																																																																		
採苗(定植用苗)	育苗鉢は10.5cmポットを利用し、6月上旬~7月上旬(2段階育苗の場合は、6月中旬~7月下旬)に鉢受けする。鉢受け後、20~25日程度で切り離す。親株1株当たり9~10株程度を採苗し、7,500株/10a(株間25cmの場合)確保する。																																																																																																																		
定植	植え付けは9月15日~9月25日頃とし、必ず検鏡により花芽分化を確認し定植する。																																																																																																																		
施肥	基肥(10a当たり)として、エコロング100 70kg、バイオノ有機100kg、キレート鉄3.5kgを施用する。 追肥(10a当たり)として、マルチ前にエコロング20kg、バイオノ有機20kgを施用する。その後は、EC0.3~0.8を目安に液肥等で追肥する。																																																																																																																		
栽植密度	株間20cm、2条千鳥植え、10a当たり97,000株以上																																																																																																																		
マルチ	黒ポリフィルムを利用し、頂花房の出蕾前に行う。花房が伸長する前にベッドサイドに反射フィルムを張る。																																																																																																																		
ビニール被覆	ビニール被覆時期は10月下旬を目安とし、平均気温が17℃以下になってから行う。																																																																																																																		
ジベレリン処理	出蕾期に10ppm程度の低濃度で1回処理する。																																																																																																																		
電照管理	電照開始は11月中旬、電照終了は3月上旬																																																																																																																		
培地加温	最低培地温15~16℃を目標に地温の調整を行う。																																																																																																																		
病虫害防除	育苗期に徹底防除し、本ばに持ち込まない。																																																																																																																		

3 月別労働時間及び作付体系														
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
月別労働時間	268.8	324.1	266.8	231.6	214.8	195.0	67.0	63.3	55.0	53.0	184.6	209.9	2,134.0	
作付体系	(慣行育苗)												○ 親株定植	
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	△	△	△ 採苗
	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	■	■	■	■ 収穫
※合計労働時間のうち 家族労働時間 ㉖ 1,365.0 雇用労働時間 769.0														

※県内の農業経営体の中でトップクラスにある農家の技術水準をベースに作成(標準的な農家実態を反映した試算ではない)。

4 減価償却費の算定基礎

いちご 高設 30a規模の10a当たり

区分	種類	型式	数量	新調価格	取得時	実用耐用	年償却額	利用	対象作目負	対象作目負
				(円)	負担割					
				㉘	㉙	㉚	㉛=㉘*㉙/㉚	㉜	㉝=㉘/2/㉜*10	㉞=㉛/㉜*10
建 物 施 設	ビニールハウス	KP(4連×45m×3)	3,000	11,391,000	70%	12	669,791	30a	1,328,950	223,264
	中2重施設	KP(4連×45m×3)	3,000	2,346,000	70%	12	137,945	30a	273,700	45,982
	屋根掛け育苗ハウス	5.4m*56m*3棟	900	3,242,700	100%	12	272,387	30a	540,450	90,796
	収納作業舎	木造スレート(20坪)	66	1,914,000	100%	22	88,044	30a	319,000	29,348
	小計			18,893,700			1,168,166		2,462,100	389,390
機 械 器 具	高設栽培システム	鹿児島I型	3,000	14,400,000	70%	10	1,008,000	30a	1,680,000	336,000
	軽トラック	660cc	1	805,000	100%	6	134,435	30a	134,167	44,812
	動力噴霧機	3PS・タンク付き(200L)	1	259,200	100%	10	25,920	30a	43,200	8,640
	暖房機	400型(タンク付, ガソリン駆動)	3	3,480,000	70%	10	243,600	30a	406,000	81,200
	電照一式	電照機作盤, 配線等(電球除く)	3	975,000	70%	10	68,250	30a	113,750	22,750
	灌水施設一式(本ぽ)	給水ほ場立上りまで	1	1,920,000	70%	10	134,400	30a	224,000	44,800
	予冷库	1.5坪用(-5~+15℃)	1	525,800	100%	10	52,580	30a	87,633	17,527
	高設ベンチ育苗一式	ベンチ, 灌水施設, 防草	3	4,230,000	100%	21	203,040	30a	705,000	67,680
	自動開閉装置	制御盤1系統*1基, 谷ソーラ(固定式)3台	3,000	2,391,500	70%	10	167,405	30a	279,008	55,802
	パソコン一式		1	150,000	100%	6	25,050	30a	25,000	8,350
小計			29,136,500			2,062,680		3,697,758	687,561	
動 物 植 物										
	小計			0			0		0	0
合計				48,030,200			3,230,846		6,159,858	1,076,951

注1) 取得時負担割合: 「全額自己負担 100%」「補助事業活用 70%(硬プラ等50%)」「共同利用 33%」から選択

注2) 耐用年数は, 実用耐用年数(法定耐用年数の1.5倍)を使用した。

注3) 利用面積は, 他作目も含めた経営全体のうち, 当該施設や機械等を利用する面積とした。

区分	オクラ
----	-----

作目作型名	トンネル
-------	------

1 前提条件等

(1) 営農類型(主要作目の規模)

作目	規模	作目	規模
トンネルオクラ	20 a		
そらまめ	100 a		
スナップえんどう	40 a		
	a		
合計		160 a	

(2) 農業従事者数

家族労働	2 人	常時雇用	人
------	-----	------	---

(3) 原単位表の規模

20 a 規模の
10 a 当たり
12 a (借地)

(4) 生産量と単価

生産量	2,000	kg/10a
単価	745	円/kg

(5) 栽培技術

品種	ブルースカイ
土壌消毒	連作は場では行う。消毒作業は委託する。
は種	3/20頃 ただし、早まきすると立ち枯れや生育不良が発生しやすい。 地温18℃以上の確保に努め、適期には種する。
栽植密度	畦幅 160cm 床幅 75cm 条間 45cm(2条) 株間 15cm
は種粒数	1穴4粒まき
誘引	支柱は2~3m間隔で設置し、倒伏防止のためテープで誘引する。
防除	苗立枯病, 灰色かび病, 菌核病, アブラムシ, オオタバコガ, スリップスの防除を重点に行う。
収穫	は種後約2ヶ月で収穫開始 開花後10日程度で収穫する。 収穫期間は、5月下旬~8月下旬の約3ヶ月間である。

2 原単位表

円/10a

費 目		金額(税抜)
粗 収 益	金 額 ①	1,490,000
	雑 収 入 ②	
	副産物収入 ③	
	粗収益合計 ④=①+②+③	1,490,000
費 用	租税公課	4,717
	種苗費	51,256
	素畜費	0
	肥料費	22,640
	飼料費	0
	農具費	8,689
	農薬衛生費	86,727
	諸材料費	97,791
	修繕費	8,492
	動力光熱費	32,741
	農作業衣料費	3,789
	農業共済掛金	978
	減価償却費	43,834
	賃借料	10,195
	土地改良費	8,467
雑費	11,288	
労働費	家族 ⑥	527,835
	雇用 ⑦	21,560
合 計	⑧=⑤+⑥+⑦	940,999
経費から差引く育成費用 ⑨		0
生 産 費	⑩=⑧-③-⑨	940,999
資本利子	支払 ⑪	2,774
	自己 ⑫	2,774
地 代	支払 ⑬	2,959
	自己 ⑭	1,174
支払利子・地代算入生産費	⑮=⑩+⑪+⑫	946,731
資本利子・地代全額算入生産費	⑯=⑩+⑬+⑭	950,679
流 通	販売手数料 ⑰	190,720
	荷造・運賃 ⑱	299,400
費 小 計	⑲=⑰+⑱	490,120
総 原 価	⑳=⑯+⑲	1,440,799
農業経営費	㉑=⑳+①+③+④-⑨	909,016
農 業 所 得	㉒=㉑-①	580,984
所 得 率	㉓=㉒/㉑	39%
農 企 業 利 潤	㉔=㉒-⑥-⑫-⑭	49,201
家族労働報酬	㉕=㉒-⑫-⑭	577,036
家族労働1日当たり農業所得	㉖=㉕/㉗*8	6,780
固定資本1,000円当たり所得	㉗=㉕/㉘*1000	2,510

3 月別労働時間及び作付体系

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
月別労働時間	4.0	21.0	12.0	7.0	99.3	248.3	210.6	60.3	48.0	1.0	1.0	1.0	713.5
作付体系			○	-----	-----	■	■	■	■	■			○ 播種 ■ 収穫

※合計労働時間のうち 家族労働時間 ㉗ 685.5 雇用労働時間 28.0

※県内の農業経営体の中でトップクラスにある農家の技術水準をベースに作成(標準的な農家実態を反映した試算ではない)。

区分	オクラ
----	-----

作目作型名	ハウス
-------	-----

1 前提条件等

(1) 営農類型(主要作目の規模)

作目	規模	作目	規模
ハウスオクラ	18 a		
トンネルオクラ	20 a		
スナップえんどう	80 a		
	a		
合計		118 a	

(2) 農業従事者数

家族労働	2 人	常時雇用	人
------	-----	------	---

(3) 原単位表の規模

18 a 規模の
10 a 当たり
(借地)

(4) 生産量と単価

生産量	2,200 kg/10a
単価	987 円/kg

(5) 栽培技術

品種	ニュースカイ
土壌消毒	ハウスは連作となるので、実施する。
は種	2/10頃 ただし、早まきすると立ち枯れや生育不良が発生しやすいので、二重カーテン被覆とトンネル被覆を併用し、地温確保に努める。
栽植密度	畦幅 135cm 床幅 75cm 条間 45cm(2条)
は種粒数	1穴4粒まき
誘引	支柱は2~3m間隔で設置し、倒伏防止のためテープで誘引する。
防除	苗立枯病、灰色かび病、菌核病、アブラムシ、オオタバコガ、スリップスの防除を重点に行う。
収穫	は種後2ヶ月で収穫開始 開花後10日程度で収穫する。 収穫は、4~11月まで可能であるが、秋冬作でスナップえんどうなど別の品目を入れる場合は7月で打ち切る。(当指標では7月まで)

2 原単位表

円/10a

費 目		金額(税抜)
粗 収 益	金 額 ①	2,171,400
	雑 収 入 ②	
	副産物収入 ③	
	粗収益合計 ④=①+②+③	2,171,400
費 用	租税公課	5,522
	種苗費	51,256
	素畜費	0
	肥料費	33,749
	飼料費	0
	農具費	5,998
	農薬衛生費	78,880
	諸材料費	295,370
	修繕費	81,598
	動力光熱費	32,159
	農作業衣料費	6,180
	農業共済掛金	12,243
	減価償却費	495,579
	賃借料	1,324
	土地改良費	8,467
雑費	15,304	
労働費	家族 ⑥ 雇用 ⑦	626,395 46,200
合 計	⑧=⑤+⑥+⑦	1,796,224
経費から差引く育成費用 ⑨		0
生 産 費	⑩=⑧-③-⑨	1,796,224
資本利子	支払 ⑪ 自己 ⑫	19,455 19,455
地 代	支払 ⑬ 自己 ⑭	0 6,178
支払利子・地代算入生産費	⑮=⑩+⑪+⑫	1,815,679
資本利子・地代全額算入生産費	⑯=⑩+⑬+⑭	1,841,312
流 通	販売手数料 ⑰ 荷造・運賃 ⑱	277,939 329,340
費 小 計	⑲=⑰+⑱	607,279
総 原 価	⑳=⑯+⑲	2,448,591
農業経営費	㉑=⑳+㉒+㉓+㉔-⑨	1,796,563
農 業 所 得	㉒=④-㉑	374,837
所 得 率	㉓=㉒/④	17%
農 企 業 利 潤	㉔=㉒-⑥-⑦-⑬-⑭	-277,191
家族労働報酬	㉕=㉒-⑬-⑭	349,204
家族労働1日当たり農業所得	㉖=㉒/㉗*8	3,686
固定資本1,000円当たり所得	㉗=㉒/㉘*1000	133

3 月別労働時間及び作付体系

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
月別労働時間	19.0	12.0	8.0	99.3	248.3	210.6	204.3	49.0	1.0	1.0	1.0	20.0	873.5
作付体系		○	○	■	■	■	■	■	■				○ 播種 ■ 収穫

※合計労働時間のうち 家族労働時間 ㉗ 813.5 雇用労働時間 60.0

※県内の農業経営体の中でトップクラスにある農家の技術水準をベースに作成(標準的な農家実態を反映した試算ではない)。

区分	かぼちゃ
----	------

作目作型名	半促成
-------	-----

1 前提条件等

(1) 営農類型(主要作目の規模)

作目	規模	作目	規模
かぼちゃ(半促成)	40 a		
かぼちゃ(大型トンネル)	80 a		
かぼちゃ(小型トンネル)	60 a		
かぼちゃ(抑制)	120 a		
合計		300 a	

(2) 農業従事者数

家族労働	2 人	常時雇用	人
------	-----	------	---

(3) 原単位表の規模

40 a 規模の
10 a 当たり
(借地)

(4) 生産量と単価

生産量	3,500 kg/10a
単価	315 円/kg

(5) 栽培技術

施設	連棟ハウス(間口5.4m×45m×4棟で10a)を利用する。
品 種	えびす
育苗法	農協委託育苗
本 ぼ	抑制かぼちゃ終了後、ただちに土壤消毒を行い、堆肥4t/10aを投入して深耕する。
施 肥	(施肥例:農協堆肥4,000kg, アズミン苦土石灰100kg, 苦土重焼燐40kg, 完熟53号100kg, 玉太り30号120kg) N27:P29:K19
栽植密度	畦幅 4.5m * 株間 45cm = 490 本/10a
整枝誘引	子づる2本仕立て, 地這い一方誘引
交 配	人工交配を原則とする。
かん水	交配後20日間で約80%の果実肥大が行われる。この時期のかん水ができるようにかん水チューブを事前に設置する。
追肥	第1回:交配前後 第2回:果実肥大期 第3回:1番果収穫前 必要に応じて液肥を施用する。
玉敷き	フルーツシートを敷き, 果実の着色を均一にする。(透明シートを利用すると玉直しを省力化できる。)
病虫害防除	うどんこ病, 褐斑細菌病, 疫病, アブラムシを重点的に防除する。初期防除に努める。
収 穫	交配後60日以上での完熟果を収穫する。(交配からの積算温度を目安にする。)

2 原単位表

円/10a

費 目		金額(税抜)
粗 収 益	金 額 ①	1,102,500
	雑 収 入 ②	
	副産物収入 ③	
	粗収益合計 ④=①+②+③	1,102,500
費 用	租税公課	1,829
	種苗費	45,080
	素畜費	0
	肥料費	52,820
	飼料費	0
	農具費	615
	農薬衛生費	56,374
	諸材料費	99,833
	修繕費	37,110
	動力光熱費	18,015
	農作業衣料費	528
	農業共済掛金	26,512
	減価償却費	241,872
	賃借料	4,818
土地改良費	0	
雑費	6,020	
労働費	家族 ⑥	176,715
	雇用 ⑦	73,920
合 計	⑧=⑤+⑥+⑦	842,061
経費から差引く育成費用 ⑨		0
生 産 費 ⑩=⑧-③-⑨		842,061
資本金子	支払 ⑪	10,271
	自己 ⑫	10,271
地 代	支払 ⑬	0
	自己 ⑭	6,178
支払利子・地代算入生産費 ⑮=⑩+⑪+⑫		852,332
資本金子・地代全額算入生産費 ⑯=⑮+⑬+⑭		868,781
流 通 費	販売手数料 ⑰	135,829
	荷造・運賃 ⑱	151,550
費 小 計 ⑲=⑰+⑱		287,379
総 原 価 ⑳=⑯+⑲		1,156,160
農業経営費 ㉑=⑳+①+③+④-⑨		962,996
農 業 所 得 ㉒=㉑-②		139,504
所 得 率 ㉓=㉒/㉑		13%
農 企 業 利 潤 ㉔=㉒-⑥-⑭-⑱		-53,660
家族労働報酬 ㉕=㉒-⑭-⑱		123,055
家族労働1日当たり農業所得 ㉖=㉕/㉗*8		4,863
固定資本1,000円当たり所得 ㉗=㉕/㉘*1000		96

3 月別労働時間及び作付体系

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
月別労働時間	49.5	56.5	74.5	31.5	54.1	38.9	16.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	325.5
作付体系	◎	◎	▼	■	■	■							◎ 定植 ▼ 交配 ■ 収穫

※合計労働時間のうち 家族労働時間 ㉘ 229.5 雇用労働時間 96.0

※県内の農業経営体の中でトップクラスにある農家の技術水準をベースに作成(標準的な農家実態を反映した試算ではない)。

区分	かぼちゃ
----	------

作目作型名	大型トンネル
-------	--------

1 前提条件等

(1) 営農類型(主要作目の規模)

作目	規模	作目	規模
かぼちゃ(半促成)	40 a		
かぼちゃ(大型トンネル)	80 a		
かぼちゃ(小型トンネル)	60 a		
かぼちゃ(抑制)	120 a		
合計		300 a	

(2) 農業従事者数

家族労働	2 人	常時雇用	人
------	-----	------	---

(3) 原単位表の規模

80 a 規模の
10 a 当たり
40 a (借地)

(4) 生産量と単価

生産量	3,500 kg/10a
単価	283 円/kg

(5) 栽培技術

施設	大型トンネル(間口2.9m)を利用する作型とする。
品 種	えびす
育苗法	農協委託育苗
本 ぼ	抑制かぼちゃ終了後、ただちに土壤消毒を行い、堆肥4t/10aを投入して深耕する。
施 肥	(施肥例:農協堆肥4,000kg, アズミン苦土石灰100kg, 苦土重焼燐40kg, 完熟53号100kg, 玉太り30号120kg) N27:P29:K19
栽植密度	畦幅 4.5m * 株間 45cm = 490 本/10a
整枝誘引	子づる2本仕立て, 地這い一方誘引
交 配	人工交配を原則とする。
かん水	交配後20日間で約80%の果実肥大が行われる。この時期のかん水ができるようかん水チューブを事前に設置する。
追肥	第1回:交配前後 第2回:果実肥大期 第3回:1番果収穫前 必要に応じて液肥を施用する。
玉敷き	フルーツシートを敷き, 果実の着色を均一にする。(透明シートを利用すると玉直しを省力化できる。)
病虫害防除	うどんこ病, 褐斑細菌病, 疫病, アブラムシを重点的に防除する。初期防除に努める。
収 穫	交配後55日以上の完熟果を収穫する。(交配からの積算温度を目安にする。)

2 原単位表

円/10a

費 目		金額(税抜)
粗 収 益	金 額 ①	990,500
	雑 収 入 ②	
	副産物収入 ③	
	粗収益合計 ④=①+②+③	990,500
費 用	租税公課	1,473
	種苗費	45,080
	素畜費	0
	肥料費	52,820
	飼料費	0
	農具費	615
	農薬衛生費	56,374
	諸材料費	108,504
	修繕費	3,620
	動力光熱費	16,230
	農作業衣料費	528
	農業共済掛金	382
	減価償却費	18,608
	賃借料	3,059
	土地改良費	0
雑費	6,020	
労働費	家族 ⑥	155,155
	雇用 ⑦	87,780
合 計	⑧=⑤+⑥+⑦	556,248
経費から差引く育成費用 ⑨		0
生 産 費 ⑩=⑧-③-⑨		556,248
資本金子	支払 ⑪	2,144
	自己 ⑫	2,144
地 代	支払 ⑬	2,365
	自己 ⑭	3,089
支払利子・地代算入生産費 ⑮=⑩+⑪+⑫		560,758
資本金子・地代全額算入生産費 ⑯=⑮+⑬+⑭		565,990
流 通 費	販売手数料 ⑰	122,031
	荷造・運賃 ⑱	151,550
費 小 計 ⑲=⑰+⑱		273,581
総 原 価 ⑳=⑯+⑲		839,571
農業経営費 ㉑=⑳+⑦+⑪+⑬+⑱-⑨		679,184
農 業 所 得 ㉒=④-㉑		311,316
所 得 率 ㉓=㉒/④		31%
農 企 業 利 潤 ㉔=㉒-⑥-⑭-⑮		150,929
家族労働報酬 ㉕=㉒-⑭-⑮		306,084
家族労働1日当たり農業所得 ㉖=㉒/㉘*8		12,360
固定資本1,000円当たり所得 ㉗=㉒/㉙*1000		2,633

3 月別労働時間及び作付体系

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
月別労働時間	40.5	37.5	67.5	43.5	25.5	57.5	39.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	315.5
作付体系		◎	▼	■	■	■	■						◎ 定植 ▼ 交配 ■ 収穫

※合計労働時間のうち 家族労働時間 ㉘ 201.5 雇用労働時間 114.0

※県内の農業経営体の中でトップクラスにある農家の技術水準をベースに作成(標準的な農家実態を反映した試算ではない)。

4 減価償却費の算定基礎

かぼちゃ 大型トンネル 80a規模の10a当たり

区分	種類	型式	数量	新調価格 (円) ㉘	取得時 負担割合 (%) ㉚	実用耐用 年数(年) ㉛	年償却額 (円) ㉜=㉘*㉚/㉛	利用 面積 ㉝	対象作目負 担額等平均 投下額(円) ㉞=㉘/2/㉝*10	対象作目負 担額等年償 却額(円) ㉟=㉜/㉝*10
建 物 施 設	農機具舎	鉄骨スレート	60	2,760,000	100%	46	60,720	300a	46,000	2,024
	小計			2,760,000			60,720		46,000	2,024
機 械 器 具	軽トラック	660cc,4WD	1	805,000	100%	6	134,435	300a	13,417	4,481
	トラクター	25PS,4WD(ローター付)	1	2,511,000	100%	10	251,100	300a	41,850	8,370
	動力噴霧機	4.5PS 500Lタンク付き	1	275,100	100%	10	27,510	300a	4,585	917
	管理機	5.5ps MM758S	1	308,600	100%	10	30,860	300a	5,143	1,029
	マルチャー	LM1504N	1	176,400	100%	10	17,640	300a	2,940	588
	土壌消毒機	MI-408	1	109,200	100%	10	10,920	300a	1,820	364
	パソコン		1	150,000	100%	6	25,050	300a	2,500	835
	小計			4,335,300			497,515		72,255	16,584
動 物 植 物										
	小計			0			0		0	0
合 計				7,095,300			558,235		118,255	18,608

注1) 取得時負担割合:「全額自己負担 100%」「補助事業活用 70%(硬プラ等50%)」「共同利用 33%」から選択

注2) 耐用年数は、実用耐用年数(法定耐用年数の1.5倍)を使用した。

注3) 利用面積は、他作目も含めた経営全体のうち、当該施設や機械等を利用する面積とした。

区分	かぼちや
----	------

作目作型名	小型トンネル
-------	--------

1 前提条件等

(1) 営農類型(主要作目の規模)

作目	規模	作目	規模
かぼちや(半促成)	40 a		
かぼちや(大型トンネル)	80 a		
かぼちや(小型トンネル)	60 a		
かぼちや(抑制)	120 a		
合計		300 a	

(2) 農業従事者数

家族労働	2 人	常時雇用	人
------	-----	------	---

(3) 原単位表の規模

60 a 規模の
10 a 当たり
20 a (借地)

(4) 生産量と単価

生産量	2,600 kg/10a
単価	227.7 円/kg

(5) 栽培技術

品 種	えびす
育苗法	農協委託育苗
本 ぼ	抑制かぼちや終了後、ただちに土壤消毒を行い、堆肥4t/10aを投入して深耕する。
施 肥	(施肥例:農協堆肥4,000kg, アズミン苦土石灰100kg, 苦土重焼燐40kg, 完熟53号100kg, 玉太り30号90kg) N22:P27:K16
栽植密度	畦幅 4m * 株間 45cm = 555 本/10a
整枝誘引	子づる2本仕立て、地這い一方誘引
交 配	人工交配を原則とする。
かん水	交配後20日間で約80%の果実肥大が行われる。この時期のかん水ができるようにかん水チューブを事前に設置する。
追肥	第1回:交配前後 第2回:果実肥大期 第3回:1番果収穫前 必要に応じて液肥を施用する。
玉敷き	フルーツシートを敷き、果実の着色を均一にする。(透明シートを利用すると玉直しを省力化できる。)
病虫害防除	うどんこ病、褐斑細菌病、疫病、アブラムシを重点的に防除する。初期防除に努める。
収 穫	交配後55日以上完熟果を収穫する。(交配からの積算温度を目安にする。)

2 原単位表

円/10a

費 目		金額(税抜)
粗 収 益	金 額 ①	592,020
	雑 収 入 ②	
	副産物収入 ③	
	粗収益合計 ④=①+②+③	592,020
費	租税公課	1,595
	種苗費	51,060
	素畜費	0
	肥料費	51,450
	飼料費	0
	農具費	615
	農薬衛生費	52,774
	諸材料費	45,206
	修繕費	3,620
	動力光熱費	13,830
	農作業衣料費	528
	農業共済掛金	382
	減価償却費	18,608
	賃借料	599
	土地改良費	0
雑費	6,020	
労働費	家族 ⑥	122,045
	雇用 ⑦	58,520
合 計	⑧=⑤+⑥+⑦	426,852
経費から差引く育成費用 ⑨		0
生 産 費	⑩=⑧-③-⑨	426,852
資本利子	支払 ⑪	1,783
	自己 ⑫	1,783
地 代	支払 ⑬	1,561
	自己 ⑭	2,846
支払利子・地代算入生産費 ⑮=⑩+⑪+⑫		430,196
資本利子・地代全額算入生産費 ⑯=⑮+⑬+⑭		434,825
流 通 費	販売手数料 ⑰	72,937
	荷造・運賃 ⑱	112,580
費 小 計	⑲=⑰+⑱	185,517
総 原 価	⑳=⑯+⑲	620,342
農業経営費	㉑=⑳+①+③+④-⑨	493,668
農 業 所 得	㉒=㉑-㉑	98,352
所 得 率	㉓=㉒/㉑	17%
農 企 業 利 潤	㉔=㉒-⑥-⑭-⑮	-28,322
家族労働報酬	㉕=㉒-⑭-⑮	93,723
家族労働1日当たり農業所得	㉖=㉕/㉖*8	4,964
固定資本1,000円当たり所得	㉗=㉒/㉗*1000	832

3 月別労働時間及び作付体系

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
月別労働時間	2.5	49.5	38.5	66.5	4.5	38.5	28.5	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	234.5
作付体系		◎	-----▼-----	■ ■ ■ ■									◎ 定植 ▼ 交配 ■ 収穫

※合計労働時間のうち 家族労働時間 ㉘ 158.5 雇用労働時間 76.0

※県内の農業経営体の中でトップクラスにある農家の技術水準をベースに作成(標準的な農家実態を反映した試算ではない)。

4 減価償却費の算定基礎

かぼちゃ 小型トンネル 60a規模の10a当たり

区分	種類	型式	数量	新調価格 (円) ㉘	取得時 負担割合 (%) ㉙	実用耐用 年数(年) ㉚	年償却額 (円) ㉛=㉘*㉙/㉚	利用 面積 ㉜	対象作目負 担額等平均 投下額(円) ㉝=㉘/2/㉜*10	対象作目負 担額等年償 却額(円) ㉞=㉛/㉜*10
建 物 施 設	農機具舎	鉄骨スレート	60	2,760,000	100%	46	60,720	300a	46,000	2,024
	小計			2,760,000			60,720		46,000	2,024
機 械 器 具	軽トラック	660cc,4WD	1	805,000	100%	6	134,435	300a	13,417	4,481
	トラクター	25PS,4WD(ローター付)	1	2,511,000	100%	10	251,100	300a	41,850	8,370
	動力噴霧機	4.5PS 500Lタンク付き	1	275,100	100%	10	27,510	300a	4,585	917
	管理機	5.5ps MM758S	1	308,600	100%	10	30,860	300a	5,143	1,029
	マルチャー	LM1504N	1	176,400	100%	10	17,640	300a	2,940	588
	土壌消毒機	MI-408	1	109,200	100%	10	10,920	300a	1,820	364
	パソコン		1	150,000	100%	6	25,050	300a	2,500	835
	小計			4,335,300			497,515		72,255	16,584
動 物 植 物										
	小計			0			0		0	0
合 計				7,095,300			558,235		118,255	18,608

注1) 取得時負担割合:「全額自己負担 100%」「補助事業活用 70%(硬ブラ等50%)」「共同利用 33%」から選択

注2) 耐用年数は、実用耐用年数(法定耐用年数の1.5倍)を使用した。

注3) 利用面積は、他作目も含めた経営全体のうち、当該施設や機械等を利用する面積とした。

区分	かぼちや
----	------

作目作型名	抑制
-------	----

1 前提条件等

(1) 営農類型(主要作目の規模)

作目	規模	作目	規模
かぼちや(半促成)	40 a		
かぼちや(大型トンネル)	80 a		
かぼちや(小型トンネル)	60 a		
かぼちや(抑制)	120 a		
合計		300 a	

(2) 農業従事者数

家族労働	2 人	常時雇用	人
------	-----	------	---

(3) 原単位表の規模

120 a 規模の
10 a 当たり
40 a (借地)

(4) 生産量と単価

生産量	1,400 kg/10a
単価	268.2 円/kg

(5) 栽培技術

品 種	えびす
播種法	直まき
本 ぼ	春かぼちや終了後、ただちに土壌消毒を行い、堆肥 1t/10aを投入して深耕する。
施 肥	(施肥例:農協堆肥1,000kg, アズミン苦土石灰100kg, 苦土重焼燐20kg, 完熟53号20kg, 玉太り30号20kg, 追肥一番20kg) N6.0:P10.2:K6.2
栽植密度	畦幅 4.5m * 株間 30cm = 740 本/10a
整枝誘引	親つる1本仕立て、地這い一方誘引
交 配	早期に人工交配し、必ず交配日の表示を行う。
かん水	交配後20日間で約80%の果実肥大が行われる。この時期のかん水ができるようにかん水チューブを事前に設置する。
追肥	開花から着果後に実施し、生育に応じて増減する。
玉敷き	フルーツシートを敷き、果実の着色を均一にする。(透明シートを利用すると玉直しを省力化できる。)
病虫害防除	うどんこ病、褐斑細菌病、疫病、アブラムシを重点的に防除する。初期防除に努める。
収 穫	交配後60日を目安とし、収穫する。(交配からの積算温度を目安にする。)

2 原単位表

円/10a

費 目		金額(税抜)	
粗 収 益	金 額 ①	375,480	
	雑 収 入 ②		
	副産物収入 ③		
	粗収益合計 ④=①+②+③	375,480	
費 用	物 財 費	租税公課	1,394
		種苗費	11,218
		素畜費	0
		肥料費	17,600
		飼料費	0
		農具費	615
		農薬衛生費	28,689
		諸材料費	33,365
		修繕費	3,620
		動力光熱費	9,270
		農作業衣料費	528
		農業共済掛金	382
		減価償却費	18,608
		賃借料	42
		土地改良費	0
雑費	6,020		
労働費	家族 ⑥	85,085	
	雇用 ⑦	25,410	
合 計 ⑧=⑤+⑥+⑦		241,846	
経費から差引く育成費用 ⑨		0	
生 産 費 ⑩=⑧-③-⑨		241,846	
資本金子	支払 ⑪	1,228	
	自己 ⑫	1,228	
地 代	支払 ⑬	1,561	
	自己 ⑭	2,069	
支払利子・地代算入生産費 ⑮=⑩+⑪+⑫		244,635	
資本金子・地代全額算入生産費 ⑯=⑮+⑬+⑭		247,932	
流 通 費	販売手数料 ⑰	46,259	
	荷造・運賃 ⑱	60,620	
費 小 計 ⑲=⑰+⑱		106,879	
総 原 価 ⑳=⑯+⑲		354,811	
農業経営費 ㉑=⑳+①+③+④-⑨		266,429	
農 業 所 得 ㉒=④-㉑		109,051	
所 得 率 ㉓=㉒/④		29%	
農 企 業 利 潤 ㉔=㉒-⑥-⑭-⑱		20,669	
家族労働報酬 ㉕=㉒-⑭-⑱		105,754	
家族労働1日当たり農業所得 ㉖=㉕/㉘*8		7,895	
固定資本1,000円当たり所得 ㉗=㉒/㉙*1000		922	

3 月別労働時間及び作付体系

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
月別労働時間	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	18.5	53.5	19.5	32.5	14.5	143.5
作付体系								○	○	▼	■	■	○ 播種 ▼ 交配 ■ 収穫

※合計労働時間のうち 家族労働時間 ㉘ 110.5 雇用労働時間 33.0

※県内の農業経営体の中でトップクラスにある農家の技術水準をベースに作成(標準的な農家実態を反映した試算ではない)。

4 減価償却費の算定基礎

かぼちゃ 抑制 120a規模の10a当たり

区分	種類	型式	数量	新調価格 (円) ㉘	取得時 負担割合 (%) ㉚	実用耐用 年数(年) ㉛	年償却額 (円) ㉜=㉘*㉚/㉛	利用 面積 ㉝	対象作目負 担額等平均 投下額(円) ㉞=㉘/2/㉝*10	対象作目負 担額等年償 却額(円) ㉟=㉜/㉝*10
建 物 施 設	農機具舎	鉄骨スレート	60	2,760,000	100%	46	60,720	300a	46,000	2,024
	小計			2,760,000			60,720		46,000	2,024
機 械 器 具	軽トラック	660cc,4WD	1	805,000	100%	6	134,435	300a	13,417	4,481
	トラクター	25PS,4WD(ローター付)	1	2,511,000	100%	10	251,100	300a	41,850	8,370
	動力噴霧機	4.5PS 500Lタンク付き	1	275,100	100%	10	27,510	300a	4,585	917
	管理機	5.5ps MM758S	1	308,600	100%	10	30,860	300a	5,143	1,029
	マルチャー	LM1504N	1	176,400	100%	10	17,640	300a	2,940	588
	土壌消毒機	MI-408	1	109,200	100%	10	10,920	300a	1,820	364
	パソコン		1	150,000	100%	6	25,050	300a	2,500	835
	小計			4,335,300			497,515		72,255	16,584
動 物 植 物										
	小計			0			0		0	0
合 計				7,095,300			558,235		118,255	18,608

注1) 取得時負担割合:「全額自己負担 100%」「補助事業活用 70%(硬プラ等50%)」「共同利用 33%」から選択

注2) 耐用年数は、実用耐用年数(法定耐用年数の1.5倍)を使用した。

注3) 利用面積は、他作目も含めた経営全体のうち、当該施設や機械等を利用する面積とした。

4 減価償却費の算定基礎

きゅうり 抑制＋半促成 3,000㎡規模の1,000㎡当たり

区分	種類	型式	数量	新調価格 (円)	取得時 負担割合 (%)	実用耐用 年数(年)	年償却額 (円)	利用 面積	対象作目負 担額等平均 投下額(円)	対象作目負 担額等年償 却額(円)
				㉘	㉙	㉚	㉛=㉘*㉙/㉚	㉜	㉝=㉘/2/㉜*10	㉞=㉛/㉜*10
建 物 施 設	ビニールハウス	KPHN型	3000㎡	18,105,000	70%	12	1,064,574	30a	2,112,250	354,858
	収納作業舎	木造スレート	50㎡	2,300,000	100%	46	50,600	30a	383,333	16,867
	小計			20,405,000			1,115,174		2,495,583	371,725
機 械 器 具	軽トラック	660cc4WD	1台	805,000	100%	6	134,435	30a	134,167	44,812
	トラクター(ロータリー付)	25ps 作業幅150cm	1台	2,571,000	100%	10	257,100	30a	428,500	85,700
	動力噴霧機一式	4.5ps・タンク付(500L)	1台	299,200	100%	10	29,920	30a	49,867	9,973
	自動開閉装置	3,000㎡, 3谷(4棟)	1式	2,457,600	70%	10	172,032	30a	286,720	57,344
	暖房機	400型	3台	3,480,000	70%	10	243,600	30a	406,000	81,200
	管理機	5.5ps	1台	308,600	100%	10	30,860	30a	51,433	10,287
	灌水施設一式	フィルター,停止弁他	1式	1,980,000	70%	10	138,600	30a	231,000	46,200
	土壌消毒機	トラクター全面用	1台	678,300	100%	10	67,830	30a	113,050	22,610
	パソコン一式		1	150,000	100%	6	25,050	30a	25,000	8,350
		小計			12,729,700			1,099,427		1,725,737
動 物 植 物										
	小計			0			0		0	0
	合計			33,134,700			2,214,601		4,221,320	738,201

注1) 取得時負担割合:「全額自己負担 100%」「補助事業活用 70%(硬ブラ等50%)」「共同利用 33%」から選択

注2) 耐用年数は, 実用耐用年数(法定耐用年数の1.5倍)を使用した。

注3) 利用面積は, 他作目も含めた経営全体のうち, 当該施設や機械等を利用する面積とした。

区分	きゅうり
----	------

作目作型名	促成長期
-------	------

1 前提条件等

(1) 営農類型(主要作目の規模)

作目	規模	作目	規模
きゅうり(促成長期)	30 a		
	a		
	a		
	a		
合計		30	a

(2) 農業従事者数

家族労働	2 人	常時雇用	人
------	-----	------	---

(3) 原単位表の規模

3,000㎡ 規模の
1,000㎡ 当たり
(借地)

(4) 生産量と単価

生産量	22,000 kg/1,000㎡
単価	265 円/kg

(5) 栽培技術

品種	輝世紀 台木 ゆうゆうー輝黒
育苗	県経済連種苗センターからの購入 1,000株/10a
定植	定植 は種後20~25日苗を目安に本葉3~4枚で定植する。
施肥	有機物の増施、深耕など土づくりをおこなう。 1回目の追肥は、摘心時に肥効が現れるように、6~7日前に施す。 追肥は樹勢により施す。(窒素成分で4~5kg/10a/月程度) ハウス欠乏対策で必要により、FTEを10a当たり4kg施す
栽植密度	3ベット1条植え 株間50~60cm (840~1,000本/10a)
整枝・誘引	主枝は16~18節で摘心(心抜き)する。子づるは下節の5節までは早めに除去し、その後は1~2節摘心を行う。 孫、ひ孫づるは株に応じて整枝を行い、込み合う場合は適宜整理する。年明け以降収量を落とさないために、12月中旬より力枝を数本確保する。
温度管理	午前中27~30℃、午後は20~25℃、日没~9時までは15~16℃、その後は13~14℃で管理する。 暖房機は夜間の最低気温が10℃を下回ってから使用する。
収穫	重さ100g長さ20cm程度のM級を中心に収穫する。
病虫害防除	予防的防除に努め、ハウス内環境の適切な管理の徹底や、防虫ネット等を有効活用する。

2 原単位表

円/1,000㎡

費 目		金額(税抜)
粗 収 益	金 額 ①	5,830,000
	雑 収 入 ②	
	副産物収入 ③	
	粗収益合計 ④=①+②+③	5,830,000
費 用	租税公課	30,597
	種苗費	139,000
	素畜費	0
	肥料費	133,960
	飼料費	0
	農具費	11,031
	農薬衛生費	92,932
	諸材料費	498,674
	修繕費	129,054
	動力光熱費	534,534
	農作業衣料費	4,829
	農業共済掛金	16,260
	減価償却費	738,201
	賃借料	1,909
	土地改良費	0
	雑費	45,100
	労働費	家族 ⑥ 1,010,919 雇用 ⑦ 43,120
	合 計 ⑧=⑤+⑥+⑦	3,430,120
	経費から差引く育成費用 ⑨	0
	生 産 費 ⑩=⑧-③-⑨	3,430,120
資本利子	支払 ⑪ 31,632 自己 ⑫ 31,632	
地 代	支払 ⑬ 0 自己 ⑭ 13,424	
支払利子・地代算入生産費 ⑮=⑩+⑪+⑫	3,461,751	
資本利子・地代全額算入生産費 ⑯=⑩+⑬+⑭	3,506,807	
流 通 費	販売手数料 ⑰ 658,790 荷造・運賃 ⑱ 1,111,220	
費 小 計 ⑲=⑰+⑱	1,770,010	
総 原 価 ⑳=⑯+⑲	5,276,817	
農業経営費 ㉑=⑳+①+⑩+⑬+⑭-⑨	4,220,843	
農 業 所 得 ㉒=㉑-㉑	1,609,157	
所 得 率 ㉓=㉒/㉑	28%	
農 企 業 利 潤 ㉔=㉒-⑥-⑭-⑮	553,183	
家族労働報酬 ㉕=㉒-⑭-⑮	1,564,101	
家族労働1日当たり農業所得 ㉖=㉒/㉖*8	9,805	
固定資本1,000円当たり所得 ㉗=㉒/㉗*1000	381	

3 月別労働時間及び作付体系

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
月別労働時間	158.0	152.2	167.4	173.6	161.0	42.2	12.9	12.8	23.7	96.2	175.9	193.0	1,368.9
作付体系	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	■	■	○ 播種 ◎ 定植 ■ 収穫

※合計労働時間のうち 家族労働時間 ㉖ 1,312.9 雇用労働時間 56.0

※県内の農業経営体の中でトップクラスにある農家の技術水準をベースに作成(標準的な農家実態を反映した試算ではない)。

4 減価償却費の算定基礎

きゅうり 促成長期 3,000㎡規模の1,000㎡当たり

区分	種類	型式	数量	新調価格 (円)	取得時 負担割合 (%)	実用耐用 年数(年)	年償却額 (円)	利用 面積	対象作目負 担額等平均 投下額(円)	対象作目負 担額等年償 却額(円)
				㉘	㉙	㉚	㉛=㉘*㉙/㉚	㉜	㉝=㉘/2/㉜*10	㉞=㉛/㉜*10
建 物 施 設	ビニールハウス	KPHN型	3000㎡	18,105,000	70%	12	1,064,574	30a	2,112,250	354,858
	収納作業舎	鉄骨スレート	50㎡	2,300,000	100%	46	50,600	30a	383,333	16,867
	小計			20,405,000			1,115,174		2,495,583	371,725
機 械 器 具	軽トラック	660cc4WD	1台	805,000	100%	6	134,435	30a	134,167	44,812
	トラクター(ロータリー付)	25ps 作業幅150cm	1台	2,571,000	100%	10	257,100	30a	428,500	85,700
	動力噴霧機一式	4.5ps・タンク付(500L)	1台	299,200	100%	10	29,920	30a	49,867	9,973
	自動開閉装置	3,000㎡, 3谷(4棟)	1式	2,457,600	70%	10	172,032	30a	286,720	57,344
	暖房機	400型	3台	3,480,000	70%	10	243,600	30a	406,000	81,200
	管理機	5.5ps	1台	308,600	100%	10	30,860	30a	51,433	10,287
	灌水施設一式	フィルター,停止弁他	1式	1,980,000	70%	10	138,600	30a	231,000	46,200
	土壌消毒機	トラクター全面用	1台	678,300	100%	10	67,830	30a	113,050	22,610
	パソコン一式		1台	150,000	100%	6	25,050	30a	25,000	8,350
		小計			12,729,700			1,099,427		1,725,737
動 物 植 物										
	小計			0			0		0	0
	合計			33,134,700			2,214,601		4,221,320	738,201

注1) 取得時負担割合:「全額自己負担 100%」「補助事業活用 70%(硬ブラ等50%)」「共同利用 33%」から選択

注2) 耐用年数は, 実用耐用年数(法定耐用年数の1.5倍)を使用した。

注3) 利用面積は, 他作目も含めた経営全体のうち, 当該施設や機械等を利用する面積とした。